

# ふるさと奥尻通信

平成24年10月26日  
奥尻町教育委員会発行  
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

## 巻頭語

収穫の秋です。家庭菜園のジャガイモも掘り出しました。毎年我が家には食欲の秋ばかりやってきました。どうしてでしょね。どうやら、これは動物の本能としてあきらめるしかないようです。

## 特集 島くらべ① -奥尻島と利尻島-

夏期休暇を利用して、利尻・礼文を巡ってきました。日本海の離島という、同じような環境の二島ですが、奥尻との共通点や相違点が色々見つかりました。今回は利尻島と比べてみましょう。

①**玄関口は3つ** 利尻島へ行くには、稚内港からフェリーに乗るか、丘珠空港から飛行機に乗るかです。利尻には、鴛泊(おしどまり)港と杵形(くつがた)港の2港と山麓に利尻空港があります。ターミナルは建設中でした。

②**島内交通はバス** 島内には民間バスが走っています。ダイヤは平日6便、休日5便でそれぞれ島を左右に半周づつ。これは利尻島が円形で、一周できる周回道路があるから。定期観光バスもありました。奥尻は5便ですので、似たようなものですね。

③**雄大な利尻富士** 利尻の魅力は山岳にあります。特有の高山植物や陰しい風景が、北の離島に来たことを実感させます。樹木も奥尻のように繁茂していないので、やや寒々しい場所もあります。曇りがちで、飛行機の欠航が多いのが難点だとか。

④**歴史と文化** 島は東が利尻富士町、西が利尻町です。人口は5100人ほど。面積は奥尻よりやや大きい182㎡。両町には少々ライバル意識があるとか。利尻富士に、学芸員1名と郷土資料館、考古資料展示室が、利尻に博物館と学芸員2名が配置されていました。遺跡を比べると、縄文文化が北辺まで到達し、後に奥尻まで南下して来ることとなるオホーツク文化が花開いていました。



雲間に見える利尻富士 杵形岬より



鴛泊港と市街地

### ★町勢データの比較★

	奥尻町	利尻町	利尻富士町
面積(㎡)	142.98	76.49	105.66
人口(人)	3041	2345	2843
役場設置	明治12年	明治13年	明治13年
コンビニ	1	1	2



乗船券



なんか見覚えある車が！

⑤**島の鯨漁** 島はかつて鯨漁で栄え、東北からの出稼ぎ入夫が出入りする漁場でしたが、鯨が穫れなくなって以降、昭和中期から離島者が増え、人口は激減しました。一方、奥尻近海の鯨漁は、すでに明治中期頃から不漁の兆しが見え、次第に漁場が北へ移っていきます。これを「追い鯨」といいます。北端の利尻近海で鯨漁が終焉を迎えるのは、昭和30年頃のこのようです。

⑥**島の味覚** 奥尻も利尻も同じ日本海岸ですので、水産物は似通っています。ホッケ、シマエビ、タコ、ソイなどを食してきました。奥尻でさんざん食べているのに、つつい同じ物を欲する当たりが、私もすっかり奥尻人になってしまったのか！？

⑦**ウニ丼対決!** 奥尻はムラサキウニで利尻はバフンウニ。近年では、利尻でもムラサキウニの方が多く穫れているそうです。値段を見てビックリ！通年で一杯3000円です。奥尻は時季なら1500円~2000円ですから、お手頃ですよ。おかげで今年は3回も食べてしまったので、もう満足です。だけど、3000円のウニ丼、いつかは食べてみたい。せば、稼がねばまいね。



利尻-礼文間のフェリー



利尻富士町郷土資料館(旧鬼脇役場)

毎朝6時30分になると、家々の受信機から放送が流れてきます。「6時50分発の定期フェリーは、平常通り運航いたします」とか、「役場駐車場にて野菜の即売会を開催いたします」とか、「教育委員会ではうにまるパークにてグランドゴルフ大会を開催します」とか、島民の情報源となっているのが、防災無線の個別受信機です。外に立つスピーカーからも流れますから、島民は平等に、これらの情報を素早く、また確実に得ることが出来るわけです。

これは「防災行政無線」というもので、設備は役場内にあり、個別受信機が各家庭に備え付けてあります。現在の施設は、震災後の平成7年に更新されたものです。大地震時には自動で放送する仕組みとなっています。また、各避難所にも送受信機が備わっており、役場との通話が可能です。

日常は地域の情報を流しており、お悔やみの放送もかかります。現在、美声を聞かせてくれるのは、総務課のKさんです。また、役場内で聞かれる終業のアナウンスは、若い女性の声。はて誰だろうと、顔を想像するこのごろです。

《取り扱いのご注意》

- ・町外へ転出される方は、役場へ返却してください。
- ・町内で転居される方は、役場へ連絡してください。
- ・故障したときは自分で分解しないでください。
- ・他の人に譲らないでください。



個別受信機



新装の放送室 広報おくりし平成7年4月号より

月刊 奥尻のつり 10月号

いよいよ後半戦、秋の釣りシーズンがスタートです。しかし、今年は海水温が高いのです。もともと、奥尻は暖流が流れ込む関係で、南方の魚が捕獲されますが、今年は釣れる魚にも変化が起きているようです。奥尻港では、西日本でよく見られるカマスが釣れたり、好例のサビキ釣りが、今年はクサフグの大量発生でぜんぜん釣れないといった状況です。困った困った。



奥尻これなんだろう？ 第7回

旧稲穂小学校体育館横に白い大きな箱があります。これはなんでしょう？

先月の答え：漁期の旗竿を立てた場所



ヒント：1993年の震災後に設置されました。奥尻だけではなく全国各地にあります。

れと踵いららす輪に式用昭  
ま。し、もず。島わがしさ先  
す賑た奥借、か塗た寄てん日  
。や御尻り奥つのは贈きよ、  
か膳中る尻て本てさたり宮  
なだの者、は格伝れ漆、津  
情っ祝が遠、品わま塗先地  
景たい訪く宮のるしり祖区  
がとのれは津よもたの代の山  
想の席た青にうの。御々下  
像こでと苗止でで三膳でさ  
さ 活いかま、代一使正

由緒ある御膳奇贈さる



完成した勾玉

し的すながだ作がのて外しもで  
よなるい身くり、童しにて、行種  
う部とで近との印心まもいすつ穂  
ね分、しに、良象にう大までてふ  
。がどよ感奥さ的返の人すにいれ  
刺こうじ尻をでつでの。六るい  
激かからの実すたすほこ名勾研  
さ人。れ歴感。よがうのほ玉修  
れ間手る史しやう、が体どづセ  
の作の・てはな完熱験がくン  
の本業で文いり表成中、体りタ  
で能をは化た手情時し意験

勾玉づくり体験中

先日、福島県で開催された日本災害復興学会に参加し、震災・津波からの復興は、奥尻がその先がけなのだということ、また約20年経って、島人は故郷で平穏に生活できていることをアピールしてきました。海水温は暖かいのに夜風は冷たいですね。部屋も寒いし、そろそろ暖房をつけようかな。いやいや、厳冬期に備えて耐寒訓練を実施します！（やせ我慢した）

新米之記録（編集後記）

集ち内込能た買り十年示セり  
めのみでだ会開一度室ンま五  
てみ訪ますしま館月のは夕す月  
来に問すが、でし以開、し、よ  
年花をの、冬おま降館十の稲り  
に壇おで館期電すはを月歴穂オ  
備の働、内間話の、終二史ふー  
え花め降ものくでござ十民れプ  
まはし雪相見だ、希し七俗あ  
す、ま前当学さ教望ま日資いし  
種すの冷もい育にすで料研て  
を。年え可。委よ。今展修お

稲穂展示室終了せまる



国保病院完成 昭和50年